札幌歌志内会
創立30周年記念式典開催

札幌歌志内会（掛橋哲雄会長）の創立30周年記念式典が9月9日「うたみん」で、会員・来賓合わせて１１１名が参加して盛大に開催されました。

札幌歌志内会は、昭和62年11月に設立し、ふるさと歌志内の活性化に向け、日ごろから惜しみなく協力を行ってきました。

式典では掛橋会長が、「今回、札幌歌志内会30周年記念式典を生まれ育った歌志内で開催できることをたいへんうれしく思う」とあいさつ。

続いて村上市長が、認定こども園の建設、小・中学校修学旅行費用の全額助成、ワイン用ぶどうの本格的な栽培開始などまちの近況を報告し、「限られた財源の中、必要な事業を見極め着実に進めていくことが将来の住みよいまちづくり、元気のあるまちづくりの実現に結びつくものと確信している」とあいさつしました。

次に川野議長が、「今後も札幌歌志内会がふるさと歌志内と重要な情報の掛け橋として、大きな役割を担うものと考えている」とあいさつしました。

また、本市出身の大河道議会議員が出席し、「空知管内、そして中空知、歌志内を含めたまちづくりの底上げに少しでも力になりたい」と祝辞を述べました。

染谷会頭の音頭で始まった祝賀会では、参加した皆さんが、久しぶりに会う仲間と、互いの近況や懐かしいふるさとの思い出を話し合い、にぎやかに歓談のひとときを過ごしていました。

平成29年度 市民芸術文化祭を開催します

皆さんの文化芸術活動の発表の場として、毎年開催している「芸術のお祭り」市民芸術文化祭をうたみんで開催しますので、ぜひご来場ください。

総合展覧会

▼とき
▽10月28日（土）9時～16時
▽10月29日（日）9時～15時

▼展示種目
▽絵画・書道・生け花・陶芸・木彫・俳句・樹石・押し花・絵手紙など

※文化連盟加盟団体・サークル以外からの一般参加作品も展示します。希望される方は10月6日（金）までにうたみんへ。

芸能発表会

▼とき
▽10月29日（日）10時～

▼発表種目
▽太鼓・舞踊・歌謡曲・ダンスなど

※このほか、婦人連絡協議会によるバザーや児童館作品展、歌志内幼稚園・小学校・中学校による歌志内市子ども作品展も同時開催します。

▼問い合わせ　社会教育グループ（うたみん☎４２～３９０２）

「チロルの湯」開館から25年目
入館者４００万人達成！

平成４年12月の開館以来、本年で25年目を迎える高齢者健康センター「チロルの湯」は、９月９日に入館者数が４００万人を達成しました。

記念すべき４００万人の入館者は、桐腰（きりこし）さん（上砂川町）で、株式会社歌志内振興公社岩崎（いわさき）社長から記念として３か月間無料パス券とお食事券が贈られました。

週に３回はチロルの湯を利用しているという桐腰さんは、４００万人目と言われ「びっくりしています」と笑顔で話してくれました。

チロルの湯は、日帰り温泉として平成４年12月にオープンし、翌年の８月に宿泊施設、平成７年１月にテニスやグラウンドゴルフなど多目的に利用できるアリーナチロル、平成８年11月に露天風呂の新設と館内などの整備を行い、平成25年には大規模な浴室の全面改装などリニューアルオープンしました。

良質な鉱泉は入浴すると肌がツルツルになることで、美人の湯として親しまれ、長年にわたり市内外から多くのかたがたに利用され、この日を迎えました。

また、今回の記念として９月10日から16日までの１週間、一般入館者に対し、半額デーを実施しました。

▼右から桐腰さん（上砂川町）、岩崎株式会社歌志内振興公社社長

ぶどう畑のひとりごと 第５０回

今年は去年に比べて秋らしい日々が続いています。

日々畑にいると、二十四節気の暦どおりに季節が過ぎていくのを実感します。

処暑（８月23日ごろ）を過ぎると朝晩の気温が徐々に下がり、日ざしもやわらかく感じることも多くなりました。

白露（９月７日ごろ）のころには大気が冷え込み、文字どおり車や窓に露ができはじめます。

畑の草やぶどうの木々も、暦のリズムに合わせて生育しているのを感じます。

成長のピークはどうやら処暑のころのようです。このころまでは上へぐんぐん伸びていく生命力を感じました。

この時期を境に少し落ち着いた様子となり、成長が緩やかになると、ぶどうの木々は来年の準備をはじめます。

既に来年の芽を眠らせており、体の中に栄養を蓄え来年の準備をしていきます。

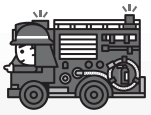
ぶどうの枝は、秋から冬にかけて栄養を蓄えながら、ゆっくり枯れていきます。

枯れ方にも、「いい枯れ方」と「悪い枯れ方」があり、緑の枝が徐々に茶色くなり、全体が木のように堅く、葉っぱは黄色くなり、時期が来て落葉すると「いい枯れ方」で、この１年の栽培管理がうまくいったことになります。

いつまでも枝は緑のままで、葉っぱは霜が降りるころに急に褐色になって落葉してしまうのは「悪い枯れ方」で、何が原因かを丁寧に振り返り、来年の栽培管理の反省としてつなげていきます。

天候や季節の移り変わりによって管理を工夫していくことに、終わりはありません。

〈地域おこし協力隊　遠藤〉



秋の火災予防運動

火の用心　ことばを形に　習慣に

10月15日(日)から31日(火)までの17日間、秋の火災予防運動が全道一斉に実施されます。

暖房器具を使い始めるこの季節は、取り扱い不注意や機器の故障などで火災に至るケースが多く見受けられます。大切な命、財産を火災から守るため、次の点に注意しましょう。

〈消防本部予防・保安グループ☎42～3255〉

主な出火原因とその対策

■ストーブ

▽ストーブの周りに燃えやすい物を置かないようにしましょう。

▽ストーブの上に洗濯物を干すのはやめましょう。

▽暖房器具を使用する前に、点検・整備を行いましょう。

■コンロ

▽ガス台の周りにふきんなど燃えやすい物を置かないようにしましょう。

▽揚げ物をしているときは、その場を離れないようにし、離れるときは必ず火を消しましょう。

■たばこ

▽吸殻は、水などで確実に消しましょう。

▽灰皿には、吸殻をためないようにしましょう。

▽投げ捨て、寝たばこは絶対にやめましょう。

■電気配線

▽たこ足配線はせず、使用後は電源プラグを抜いておきましょう。

▽コンセントの周りは定期的に清掃するようにしましょう。

■放火

▽家の周りに、新聞や段ボールなど燃えやすい物を置かないようにしましょう。

▽車庫や物置には鍵をかけましょう。

■火遊び

▽子どもの手の届くところに、ライターなどを置かないようにしましょう。

▽子どもには日ごろから、正しい火の使い方と火災の恐ろしさや火遊びの危険性を教えましょう。

予防運動期間中

▽火災予防運動期間中は、消防車両と有線放送による予防広報を実施します。

▽消防職員と消防団員による防火査察を行います。各家庭を訪問しますので、その際には、皆さんのご協力をお願いします。

▽10月15日（日）20時にサイレンを鳴らします。これを合図にもう一度火のもとを確かめましょう。

高齢者のみなさんへ　季節性インフルエンザ予防接種

本市では、次のとおり65歳以上の方などを対象とした季節性インフルエンザの予防接種を実施します。

接種を希望される方は、インフルエンザが流行する前に接種することをお勧めします。

■接種対象者　市内に住所を有し次のいずれかに該当する方。なお、年齢は接種当日の満年齢です。

(1)65歳以上の方

(2)60歳以上65歳未満の方で、心臓や腎臓、呼吸機能などに障がいがあるために、日常の生活における活動が極度に制限される方（身体障害者手帳の内部疾患1級に該当する方）

■実施医療機関・予約先

▽歌志内市立病院（☎42～3185）

▽勤医協神威診療所（☎42～2025）

■申し込み　10月2日（月）から実施医療機関で受け付けを開始します。予約制ですので、必ず事前に電話等で医療機関に申し込みください。また、接種日時等くわしくは、医療機関に確認してください。

■料　金　1,000円（他市町村で接種される方は、全額自己負担です）

※接種対象者のうち生活保護世帯の方は無料ですので、申し込みの際にお知らせください。

■持参するもの

▽健康保険証

▽接種対象者(2)に該当する方は、身体障害者手帳

▽生活保護世帯の方は、生活保護手帳（受給票）

〈保健予防グループ〉

画家本城義雄さん

47回連続の国展入選で新会員に推挙されました

5月3日から国立新美術館で開かれた第91回国展の絵画部門に出品し、みごと47回（47年）連続入選を果たした、本城義雄さん（78歳）が新会員に推挙されました。

国展の会員としては、北海道の画家が会員に推挙されるのはめずらしいことで6人目の会員となりました。

現在は本城さんを含め2名の会員だけで、今回の新会員の連絡を受けたときは、「うれしい反面、責任が重く困ったなという感じが強かった」と感想を話してくれました。

現在、全国で絵画部門の会員は100名ほど。その中の会員で審査することとなるので、北海道の画家が会員になるのは不利だったこともあり、「絵だけが人生じゃない」と自分の中では半分あきらめたこともあったという本城さん。

今後は「違うことで社会に役立てればいい」と考え、「来館者がみんな楽しみながら見学してくれる大正館に力を入れようと考えたこともあった」という。

本城さんは、「これからも国展へはより良い作品を出品していきたい。来年は会員になってはじめて審査する立場として出席するので、北海道から絵画作品を出品する画家のかたがたを、応援したい」と語ってくれました。

今は、秋の特別展に向け作品を手がけており、また、来年7月中旬に札幌市で回顧展を開催する予定。「昔の良い絵画作品をピックアップして展示したり、他にも手作り作品などを展示し、自分の仕事を全部見てもらうという感じの回顧展にしたい」と話してくれました。

▲国展　作品　黒の蒐集物など「火用心」

65歳以上の方が療養病床に入院したときは

平成29年10月から入院時の居住費が変わります！

〈戸籍保険グループ・市役所1階☎42～3217〉

65歳以上の方が療養病床に入院したときの居住費の標準負担額が、平成29年10月から下表のとおり変わります。

■1日当たりの食費・居住費

所得区分	食費（1食当たり）	居住費（1日当たり）	
住民税課税世帯	460円 （一部医療機関では420円）	平成29年9月まで 320円	平成29年10月から 370円
住民税非課税世帯	210円		
低所得者Ⅱ			
低所得者Ⅰ	130円		

※入院医療の必要性の高い状態が継続する患者及び回復期リハビリテーション病棟に入院している患者については、上記の「入院したときの食事代の標準負担額」と同額の食材料費相当を負担します。居住費は0円ですが、平成29年10月から入院医療の必要性の高い人は200円（難病患者の方は0円）となります。

被爆72周年原水爆禁止世界大会

本市では、昭和62年９月に非核３原則の堅持と恒久平和を願い、明るく心豊かで幸せな市民生活を守るため、『非核平和都市宣言』を行いました。

8月４日から原水爆禁止世界大会・広島大会に参加した歌志内中学校3年生の中村優唯（なかむらゆい）さんと平沼禄（ひらぬまさち）さんの感想文を紹介します。

被爆72周年原水爆禁止世界大会に参加して

歌志内中学校3年
中村優唯さん

私は八月四日から六日まで広島に行き、原水爆禁止世界大会、広島大会に参加してきました。

まず、四日に行われた広島大会の開会総会では、被爆者のお話を聞きました。その方は、学校で被爆し、お母さんの元へ走って帰ったそうです。その時、足の裏にガラスの破片が刺さっていても気が付かなかったと話していました。このお話で私が一番驚いたのは、その方が医者のところへ行った時のお話です。ガラスの破片でケガをしたのにお医者さんは、「こんなのはケガの内に入らない。家で消毒しなさい」としか言われなかったことです。私は、ガラスの破片が足の裏に刺さるということは大変なケガだと思います。それでも、「ケガの内に入らない」と言われることに驚きました。そして、そう言われるということは、もっとひどいケガを負っている人がたくさんいたということだと思いました。

次に、五日に行われた「子どもひろば」に参加してきました。子どもひろばでは、「子ども慰霊祭」「フィールドワーク慰霊碑めぐり」「ダイ・イン」「メッセージｆｒｏｍヒロシマ２０１７」に参加しました。その中でも「メッセージｆｒｏｍヒロシマ２０１７」では、全国の学生が、これからの平和について意見交換をしました。その後、私は原爆資料館に行きました。資料館には、被爆者の写真だけではなく、その当時、着られていた服もありました。どれも原爆の悲惨さが伝わってきましたが、とても興味深く引き込まれるものもたくさんありました。

私がこの大会に参加して思ったことは、原爆だけでなく、福島の原発事故も話にでてきたことにも驚きました。また、原爆についても教科書で習った最低限のことしか知らなかったので、原爆のことを詳しく知ることができて、とても良い経験になりました。

機会があれば長崎大会にも参加してみたいです。

広島に行き私が感じたこと　学んだこと

歌志内中学校3年
平沼　禄さん

私は八月四日から広島に行き、六日に帰ってきました。四日の日に、被爆や原爆についていろいろな話を聞きました。一番印象に残ったのは、被爆した女性の話でした。想像しただけでも痛々しくて話を聞いているだけでも辛かったです。

その女性が被爆したのは小学生のときでした。学校で勉強をしているときに、原爆を落とされたそうです。爆風でガラスが割れて飛んできたと言っていました。その他にも、下駄が飛ばされて一足もなかったそうです。人も、馬も死んでいたと言っていました。死体が何体も転がっている中を「ごめんなさい。通してください」と言いながら通ったと、おっしゃっていました。

私は原爆のことなど興味をもったことが、ありませんでした。しかし、八月五日、六日を通して感じたこと、想ったこと、学んだことなどがたくさんありました。

原爆資料館へみんなと行き、実際の写真や物を見て、頭の中で原爆が落とされた映像が流れていました。人混みの中

だったのもありますが、見ると吐き気が止まらなくなりました。残酷すぎて言葉になりません。今でも、夢に出てきます。私の願いは、もう、戦争などの争い事で、関係のない生命が失われないことです。

広島に行って、被爆二世の方に話を聞き、あらためて残酷さを感じました。

高校生の方が署名運動をしていました。私も名前を書きました。少しでも戦争がおこらないように。と想いながら名前を書きました。

もう、二度と戦争をしない世界になってほしいと感じました。

▲平沼さん（左）と中村さん（右）

福祉のまちづくり講演会開催

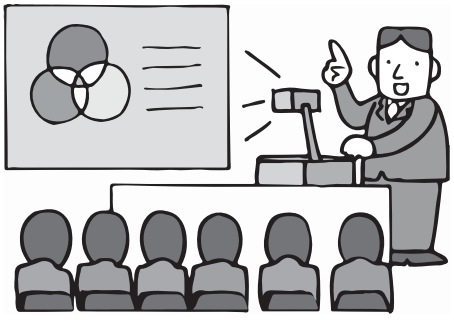
新しい支えあいの地域づくりについて

市では、人口減少や少子高齢化の進展を受けて、誰もが住み慣れた地域の中でいつまでも安心して暮らせるために、地域で生活する住民同士が共に支え合う仕組みや体制づくりを進めるうえで、それぞれが求められる役割やあり方を考える機会として福祉のまちづくり講演会を開催します。

当日は送迎バスを運行しますので、ぜひご参加ください。

▼とき　10月20日（金）18時～19時45分

▼ところ　うたみん2階大会議室



講師の紹介

社会福祉法人　池田町社会福祉協議会

事務局長　佐藤（さとう）智彦（ともひこ）氏

淑徳大学社会福祉学部社会福祉学科を卒業後、平成4年より社会福祉法人至誠学舎東京高齢者介護相談センター・サンメール尚和に勤務。平成6年より社会福祉法人池田町社会福祉協議会に勤務し現在に至る。

公職は平成13年より2年間、北海道介護支援専門員実務研修講師に就き、平成27年より北海道生活支援コーディネーター養成研修講師に就いている。

専門領域は介護福祉、地域福祉を主としており池田町社会福祉協議会での様々な取り組みに活かされている。

■送迎バス運行表

■上歌方面（迎え便）	
17：40	上歌新栄町(バス停)
17：41	上歌志内(バス停)
17：46	うたみん着

■うたみんからの帰り便
○上歌方面
19：55発
○文珠方面
20：10発

※帰り便の出発時間については、講演会の終了時間により変更となる場合がありますので、ご了承ください。

※帰り便の停車場所は、迎え便と同じ場所となります。

■文珠方面（迎え便）	
17：00	みどり団地(バス停)
17：02	歌志内中学校前(バス停)
17：04	文珠郵便局横
17：07	しらかば団地入り口(ちびっ子広場)
17：09	文珠第二町内会館前
17：10	西歌団地前(バス停)
17：12	文珠市街(バス停)
17：14	中央団地入口(バス停)
17：16	美山町(バス停)
17：17	神楽岡(バス停)
17：19	神威市街(バス停)
17：21	球場入口(バス停)
17：23	歌神(バス停)
17：28	うたみん着

問い合わせ　福祉・子育て支援グループ（市役所2階 ☎42～3213）

議会の動き

第３回定例会
９月５日から会期３日間で開催

報告された事案

■平成28年度決算に基づく歌志内市健全化判断比率について

■同歌志内市資金不足比率について

これらの比率について、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定に基づき議会への報告を行いました。

健全化判断比率は下の表１のとおりで、資金不足比率は市営公共下水道特別会計、市営神威岳観光特別会計及び病院事業会計とも資金不足額がないことから算出されませんでした（経営健全化基準20・０％）。

【表１】 健全化判断比率

区　分	歌志内市	早期健全化基準
実質赤字比率	赤字額なし	15.00％
連結実質赤字比率	赤字額なし	20.00％
実質公債費比率	10.7％	25.0 ％
将来負担比率	算定数値なし	350.0％

教育委員会委員の任命

９月30日に任期満了となる高澤悦子（たかざわえつこ）氏の再任について、議会の同意を得ました。〈任期４年〉

■市内神威

高澤悦子（たかざわえつこ）氏

※再任のため略歴は省略します。

可決された議案

■歌志内市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、公営住宅の入居者が収入の申告をすること等が困難な事情にある場合における家賃の算定方法を規定するなど、関係条文を整備しました。

■北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について

北海道市町村職員退職手当組合を組織する団体の名称変更に伴い、規約の一部を変更しました。

■北海道市町村総合事務組合規約の変更について

北海道市町村総合事務組合を組織する団体の名称変更に伴い、規約の一部を変更しました。

■平成29年度歌志内市一般会計補正予算（第３号）

歳入歳出予算に1,０８３万６千円を追加し、総額を44億9,９０５万２千円としました。

補正予算の主な内容は次のとおりです。

【歳　出】

▽教職員住宅内部改修に係る工事費の増
３３３万８千円
▽国庫（道費）支出金返還金の増
２６０万３千円
▽社会福祉施設改修事業に係る設計委託料の増
２６５万７千円
▽障害者自立支援対策推進事業に係るシステム改修委託料の増
54万３千円
▽予備費の増
１０２万１千円

【歳　入】

▽社会保障・税番号制度システム整備補助金の増
63万６千円
▽学校教育寄附金の増
20万円
▽前年度繰越金の増
1,０００万円

閉会中の審査として付託された議案

■平成28年度歌志内市各会計歳入歳出決算の認定について

■同歌志内市病院事業会計決算の認定について

これら２議案は、９月５日に設置された決算審査特別委員会（本田加津子（ほんだかつこ）委員長、議長及び監査委員を除く全議員で構成）に、閉会中の継続審査として付託されました。

可決された意見書

■小中学校におけるプログラミング必修化に対して支援を求める意見書

■適正な地方財政計画の策定を求める意見書

■道教委「新たな高校教育に関する指針」を抜本的に見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

■家族介護はもう限界です！障害児者の生きる基盤となる「暮らしの場」の早急な整備を求める意見書

〈９月７日・議員提出〉

他２件の意見書が原案どおり可決され、内閣総理大臣など各関係先に送付されました。

なお、その他の意見書については、11月号に折り込み予定の「議会だより」をご覧ください。

Let's 健康！　あなたの健康を応援します

10月号、11月号と２か月にわたり、歯の健康についてお知らせします。
今回は、子どもの歯の健康についてです。

●乳歯の役割

乳歯は生後６か月ころから生えはじめ、２～３歳までに上下合わせて20本が生えそろいます。一生のうちに乳歯を使う期間は約10年と短いですが、この10年間に乳歯は大切な役割を果たします。

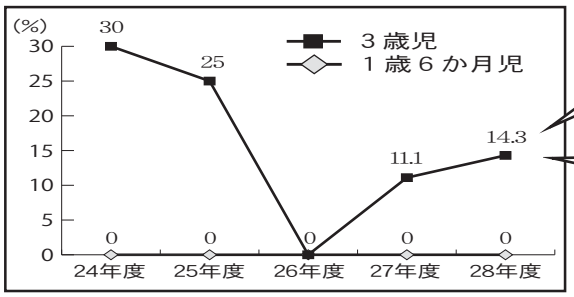
■乳歯の主な役割

役　　割	説　　明
①食べ物を噛む	しっかり噛むことで、成長に必要な栄養分を効率よく吸収できます。
②顔のかたちを整える	よく噛むことは、あごの発達を助けるので、将来の歯並びや顔の形にも影響します。
③発音を助ける	きれいな歯並びは、正しい発音を育てると言われています。
④永久歯が正しく生えるための案内	むし歯などで乳歯を抜いてしまった場合、永久歯は生える場所の目印を失って、歯並びが悪くなる原因になることがあります。

むし歯で乳歯を失ってしまうと、これらの役割をうまく果たせなくなります。むし歯にならないように家族で子どもの歯を守りましょう。

●歌志内市の子どもの歯の状況

図：むし歯がある子の割合(１歳６か月・３歳児健診から)



１歳６か月児には、むし歯がある子はいないのに、３歳児になると増加しています。

むし歯があった３歳児の１歳６か月のときの状況をみると、お菓子の回数が多かったり、ジュースをたくさん飲んでいました。

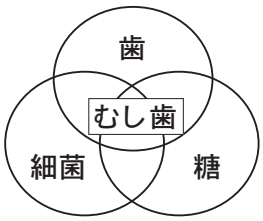
●どうしてむし歯になるの

むし歯は口の中にいる細菌(ミュータンス菌)が作り出す酸によって、歯がとけていく病気です。

歯こうの中にすむミュータンス菌 → 砂糖の入った甘いものを食べると・・・ → 活発に動いて酸を作る → 酸が歯を溶かしてむし歯を作る

●むし歯予防のためには

３つの輪が重なっている時間を短くすることが大切です。



歯	・バランスの良い食事で強い歯を作る ・定期的に歯科検診とフッ素塗布を受ける
細菌	・しっかり歯磨きをする（寝る前は仕上げ磨きをする習慣を付ける）
糖	・おやつは時間と量を決めて食べる ・甘いおやつや飲み物は減らす

市では、就学前の児を対象に歯科検診・フッ素塗布を無料で実施しています。対象となる方は、ぜひご利用ください。
次回は、大人のお口の健康についてです。

〈問い合わせ〉保健予防グループ　市役所２階　☎42～3213